

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	1175300282		
法人名	株式会社 寿エンタープライズ		
事業所名	グループホーム北本		
所在地	埼玉県北本市北本宿195-1		
自己評価作成日	平成 年 月 日	評価結果市町村受理日	平成26年 10月31日

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・目の前に広がる雑木林などの豊かな自然と、駅から徒歩15分の好立地に存在し、庭では畑での季節の野菜づくりやグリーンカーテン、草花などを入居者様とともに育てています。</li> <li>・地域の行事への参加や、慰問、ボランティアの積極的な受け入れを行い地域に根ざした施設運営を心がけております。</li> <li>・入居者の方々の思いを尊重するとともに、全て手づくりの暖かい食事や個々の親しみのある家具の持込などをおし温かみのあり家庭的でほっとするような安心感のある施設を目指しております。</li> </ul>
--

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.jp/11/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kani=true&amp;JigyouCd=1175300282-00&amp;PrefCd=11&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.jp/11/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kani=true&amp;JigyouCd=1175300282-00&amp;PrefCd=11&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

<p>閑静な住宅地に立地し、デイサービスを併設した事業所である。運営理念として1.人権と意志を尊重したケア2.豊かで快適な生活環境の提供3.地域に密着したホーム作り4.専門性のあるケアを掲げている。利用者には日常的に外出してもらい閉塞感を感じることがないように配慮している。庭園で行われる本格的なそうめん流しは毎年利用者や家族に好評である。職員は入職時に認知症について詳しく学び、外部研修にも参加して常にスキルアップを心がけている。市内のグループホームと地域密着型事業所からなる地域密着会議に参加し情報交換し合い運営に活かしている。又年に一度各事業所の利用者による絵画や手芸品の作品展が開催され、その完成度の高さは地域の方から注目されている。事業所内のリビングの壁には出品した多数の作品や作品展の様子を写した写真が飾られている。</p>
--

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	有限会社プログレ総合研究所
所在地	埼玉県さいたま市大宮区大門町3-88 逸見ビル2階
訪問調査日	平成 26年 9月 26日

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員の入職時には、理念を説明し、各ユニットごとに掲示すると共に、毎日朝礼で全員で唱和しています。	職員は、毎日朝礼時に理念を唱和し、確認し合っている。利用者の尊厳を第一に考え、地域との交流を大切にし、職員のスキルアップに励んで利用者が過ごしやすい環境を作り実践している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会の行事に参加したり、ホームの行事に地域の方を招いたり、散歩などにも積極的に挨拶をする等、交流を重ねています。	自治会に入会している。毎年お祭りや芋ほり大会に参加し、地域と密に交流している。小学6年生の訪問も受け入れている。朗読、踊り、オカリナ等のボランティアの来訪は利用者の楽しみになっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近所の小学生との様々な交流や行事に積極参加することで、その人に合わせた援助をすれば認知症の方も普通に生活できるということを発信しています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市役所、地域包括、民生委員、自治会長、家族の皆様方と話し合いそこの意見をサービス向上に活かしています。	2か月に1回、市の職員、地域包括職員、自治会長、家族代表の参加を得て開催されている。事業所からは、利用者の日常の様子や行事を報告し、参加者からも多くの意見が寄せられている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に参加していただいたり、分からない事があれば直接市役所に出向きアドバイスを受けています。	日頃から役所に出向き、市の職員と直接話し、繋がりを密にしている。年4回、市が提案した市内のグループホームと小規模多機能事業所による地域密着会議が役所内で開催され、市職員の同席も得ている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	接遇マナー委員会を通し、職員間で話し合い日々のケアに取り組んでいます。	定期的に身体拘束廃止、接遇マナー委員会を開催している。職員は日頃から「自分だったらどうか」と考え対応している。フロアのドアは、安全のため閉めているが、玄関の施錠は行っていない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	人生の先輩として尊敬し、言葉使いなど職員全員気をつけると共に、定期的に外部研修に、職員を参加させその情報を共有しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者は、以前成年後見人制度を利用している利用者様がいた為、理解している。職員には必用に応じて説明したいです。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書に明示されており、契約時に家族、本人に説明し同意も得られています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時には内部及び外部への相談窓口を記載していると共に、面会時や催事の際になるべく各家族と話をし意見を引き上げ、可能な事は運営に反映する様努力しています。	運営推進会議では、家族に積極的に意見を求め、来訪時には、できるだけ家族の意見を伺うように努めている。レクリエーションや外食等、様々な意見や要望が寄せられ、運営に反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングでは、全参加者に一言でも発言できる機会を設けています。また外出や行事等は職員に主体性を持って企画、立案をおこなっています。	日頃から自由に話し合える雰囲気作りに努めている。職員会議では、全員が自発的に意見を述べている。行事やレクリエーション等については、職員の意見や提案が多数寄せられて実践されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々に利用者様の担当を持たせ責任感ややりがいを持ってもらうよう工夫すると共に、年間120+有給休暇、希望休を踏まえてシフトを作成する等融通性を似て就業環境の整備に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	希望外部研修は許可制とし、伝達講習を義務付け知識や情報を共有しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市役所主催の地域同業者との会議や、ケアマネ連絡会を通して交流をしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人が遠慮せず、心配な事等言って頂ける信頼と関係の雰囲気作りに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	まずお話を伺い、安心して頂けるよう誠実な態度を心がけています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	安楽に生活していられる為に、必要な事の順序を考え相談するようにしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活の場なので、共にという雰囲気があるように、全体のバランスが良くなるようにと考えています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族にして頂ける事はなるべく関わっていただき、ご本人とご家族の繋がりを大切にしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域やお知り合いと触れ合う機会や、希望があれば進んで支援をしています。	家族と墓参、外食、馴染みの美容院等へ行くことが継続できるように支援をしている。利用者の希望で、ドライブの際に自宅の近くや、懐かしい場所へ行き、思い出話を聞いたり柔軟に対応している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の中に入り話しかけることで孤立をなくし、穏やかな関わりが出来るよう気遣っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	訪問、一周忌の手紙、お花等。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人に直接お聞きしたり、会話や様子等で汲み取るように努力しています。	職員は日頃の何気ない会話の中から、利用者の好みや希望を把握している。判断や言葉が困難な利用者には、表情やしぐさから思いや意向をくみ取り、心の安定が得られるように支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人に直接お聞きしたり、皆様との会話の中から汲み取るようしています。またご家族にもお聞きするようにしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご家族や、関わりの合った方々に接する機会があればお聞きしています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	普段の状況・状態をスタッフ全員が共有し、話し合って計画に反映させるようにしています。またご家族にも話を聞いたり、主治医の指導も取り入れています。	職員全員が利用者の日頃の様子を把握しており、アセスメント情報を基に医師、看護師、家族の意見が反映された現状に即したプランが作成されている。必要に応じて随時見直しも行われている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	普段からスタッフ各々が様子観察し、その都度話し合っています。また特変があり計画にそぐわなくなった場合は見直しをしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人の希望や家族の希望等出来る限り対応する様努力しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアをお願いしたり、地域の行事に参加したりしています。また散歩等を通して季節季節の様子を楽しんで頂いています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の往診、月4回の訪問看護、希望者には月4回の訪問歯科があります。また、かかりつけ医のある方には、状況に応じ受診の送迎・同行を行っています。	月2回の内科、月4回の歯科往診受診が行われている。看護師の訪問も毎週ある。家族対応で継続的に外部受診に行く人もいる。受診科によっては、職員も同行して服薬等の説明を聞くこともある。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	月4回の訪問看護があり、日中いつでも連絡が取れるようになっています。また隣接されているテイスビスの看護師にも相談出来るようになっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はスタッフ同行し現状説明をしています。また、お見舞いに行き状態を把握したりしています。退院時は同行させて頂き出来る限り情報を得るようにしています。(入退院時サマー交換あり)		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族や医師と話し合い、家族の思いや方向性を把握し、スタッフが統一したケアを行っています。	基本的には家族の対応に任せ、可能な範囲で協力する姿勢である。重度化した場合には、家族、医師、看護師、職員で十分に話し合い、得られた方針に沿いながら、尊厳をもって支援する体制である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを作成し、対応出来るよう努力しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練等を通し身につける様努力しています。また、地域との協力体制が整うよう関係作りをしています。	年2回、消防署立ち合いのもと、夜間想定も含めた避難訓練を実施している。自治会長や近隣の方の参加も得て、消防署への通報、利用者の避難誘導、水消火器の取り扱い方の訓練を行っている。	3か月に1度自主的に訓練を行い、リスクに対する精度を上げ、手順の確認作業と共に迅速に行動できるようにしたいと計画している。実践されることを期待している。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	状況やご本人を観察し、自尊心やプライバシーを害さないよう、他の利用者様から害されないよう努めています。	利用者一人ひとりの生活歴を尊重し、主張を傾聴するように心がけている。日頃からレクリエーションや、散歩の中で会話を重ねている。入浴やトイレ誘導時には、羞恥心への配慮にも気を配っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人に聞いたり選んだり出来るよう、時には提案したり、決められそうにない場合でも話しかけたりしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の状況や希望があれば全体として大きな支障が出ない範囲で、その人らしい暮らしを大切にしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	好みや希望や清潔を考え、服や髪などのおしゃれが出来るよう支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	楽しみの多くを占める食事を、外食や日々の食事で美味しく残さず食べれるように配慮し、出来る事をお手伝いしていただいています。	食事は3食とも職員の手作りで、可能な利用者には、野菜の皮むき、配膳、下膳、食器拭き等を手伝ってもらっている。外食、誕生会、ボランティアを交えたおやつ会、ソーメン流し等は好評である。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取が少ない時は、甘過ぎないゼリーや少しの甘味を入れたりして薦め、食事が進まない時は形態や好みそうな物に変えて提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご自分で出来る方には声がけ、難しい方には介助でケアし、希望者には週1回の訪問歯科でも点検とケアをお願いしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	出来る限りトイレで排泄して頂けるよう観察しタイミングを計り自力での排泄をなるべく維持出来るよう支援しています。	ほとんどの利用者は、リハビリパンツとパット使用で自立している。排泄チェック表を基に、個別にトイレ誘導を行っている。夜間は、個々の状況を把握して、定時誘導の方、その他の方と適切に対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	なるべく野菜を摂れる様に。またヨーグルトや水分、運動等その方に出来る工夫をに対応しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	全員の方が公平に入浴出来き、時間帯や入浴時間、順番に希望があれば合わせられるようにしています。	二日に一度、午後のゆったりした時間帯に入浴してもらっている。基本的には個浴で、自立している利用者には、一部介助で対応している。菖蒲湯や柚子湯で、季節感も味わってもらっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調や習慣や状況に応じて身体を休めたり、安眠出来るようお昼寝、話を聞く事、体を安楽にし必要な時は薬の服用も考えます。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	体調を把握し、定時や臨時の服薬を支援し、薬の内容や副作用また変更について理解しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の楽しみや好みを知り、全体で時に個別に時間を取り、気持ちに張りのある生活を送れるよう支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望があれば一緒に外出し、ホームでは難しい時にはご家族にお話し、外出が叶う様橋渡しをしています。	自宅が心配な利用者の希望と一緒に、家を見に行き、安心してもらうこともある。ユニット毎に車で初詣やお花見、ショッピングモール等へ外出している。月に一度の外出も利用者の楽しみになっている。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人で管理・使用できる方には使用の見守り。出来ない方には安心して頂くようお願いしており、必要な時には使えることとお話しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の取次ぎ・橋渡し、手紙の作成・投函まで支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔・整頓を心がけ使いやすく安全に、また居間は夏は緑のカーテン、冬は暖かさを感じる飾りつけ等で心地よさに配慮しています。	リビングから眺める広い庭の向うに、雑木林が続いている。夏場はひょうたんとゴーヤの緑のカーテンが日差しを和らげている。オープンキッチンには、調理の様子が見えて家庭的な雰囲気が感じられる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	その時々や個別の好み等により窓際や和室、カウンターの席や食席で過ごして頂いています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	必要な物、家にある慣れたもの等で居室でも心地よく過ごして頂けるよう配慮しています。	エアコン、クローゼット、洗面台が備品である。利用者はベッド、洋服ダンス、テレビ等慣れ親しんだ物を持ち込み、居心地よく生活している。室内は利用者が動きやすいように、安全に配置されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立支援を頭に置き、おしつけや、過干渉、持つ力を奪うことがないように考えていきます。		

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員の入職時には、理念を説明し、各ユニットごとに掲示すると共に、毎日朝礼で全員で唱和しています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会の行事に参加したり、ホームの行事に地域の方を招いたり、散歩などにも積極的に挨拶をする等、交流を重ねています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近所の小学生との様々な交流や行事に積極参加することで、その人に合わせた援助をすれば認知症の方も普通に生活できるということを発信しています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市役所、地域包括、民生委員、自治会長、家族の皆様方と話し合いそこでの意見をサービス向上に活かしています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に参加していただいたり、分からない事があれば直接市役所に出向きアドバイスを受けています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	接遇マナー委員会を通し、職員間で話し合い日々のケアに取り組んでいます。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	人生の先輩として尊敬し、言葉使いなど職員全員気をつけると共に、定期的に外部研修に、職員を参加させその情報を共有しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者は、以前成年後見人制度を利用している利用者様がいた為、理解している。職員には必用に応じて説明したいです。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書に明示されており、契約時に家族、本人に説明し同意も得られています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時には内部及び外部への相談窓口を記載していると共に、面会時や催事の際になるべく各家族と話をし意見の吸い上げ、可能な事は運営に反映する様度高くしています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングでは、全参加者に一言でも発言できる機会を設けています。また外出や行事等は職員に主体性を持って企画、立案をおこなっています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々に利用者様の担当を持たせ責任感ややりがいを持ってもらうよう工夫すると共に、年間120+有給休暇、希望休を踏まえてシフトを作成する等融通性を似て就業環境の整備に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	希望外部研修は許可制とし、伝達講習を義務付け知識や情報を共有しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市役所主催の地域同業者との会議や、ケアマネ連絡会を通して交流をしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人に不安はないか、話しやすい雰囲気作りをし、ゆっくりお話を聞き、安心出来る関係づくりに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の要望を伺い、細かくお話を聞かせて頂き、信頼関係が作れるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人の生活習慣や、状態等をよくお聞きし、必要であれば家族やドクターと相談し、他へ通院治療の対応も行っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一方的な介護にならないように気をつけると共に、助け合い、支え合う関係を築いています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の関係を理解し、家族の気持ちに添えるよう支援させて頂き、関係作りに努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご希望に応じ、美容室や馴染みの場所へお連れする等、関係が途切れないよう支援しています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	会話や、自然に皆様と関われるような雰囲気作りを心がけています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	お手紙等にて様子を伺ったりしています。定期的に連絡をとるように努めています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人に直接お聞きしたり、困難な時は表情や会話で把握出来るよう努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を利用し、生活歴や暮らしの把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の関わりの中で、ご自身の力を発揮出来るように、フォローやケアに勤めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族の要望に沿ったケアを行っています。スタッフ間では、日々意見交換をし、問題点の解決に努めています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	よく観察を行い、日々の気付きを大切にしています。細かな情報の共有に努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況に応じた支援を行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のコミュニティの活用等、豊かな生活が出来るよう支援しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人や家族の要望を聞き、受診先を選択して頂いたり、月2回の往診にて医療支援を行い、医師との関係も築いています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪問看護にて体調の変化等相談し、個別対応にて指導を受けています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時介護サマリー提供や、医師と家族で話し合いを行い、早期退院出来る様努めています。また安心して生活を送れるよう体制作りを心がけています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族や医師と話し合い、ケアの統一や適切なケアを行っています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時医療パスを作成し、素早く対応出来るようにしています。マニュアルを作成し、職員の対応の統一を図るよう努力しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の防災訓練や、夜間を想定した訓練も行い、地域の方にも参加して頂き協力体制を築いています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりに応じ個別の対応をしています。ご本人の時間を大切に過ごして頂くために居室の扉を閉める等プライバシーの確保に気を配っています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の希望を聞き、ご自分で決定して頂けるような環境作りを心がけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人に希望を伺ったり、声をかけたり、楽しく暮らして頂けるように個別対応を行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お化粧品やマニキュアを塗ったり、潤いのある生活が送れるよう支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の皮むきや盛り付け・味付け等一緒に準備を行っています。また職員と入居者様と食事を共にし、楽しい時間となるよう支援しています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりに合った食事量および形態で提供しています。習慣に応じ繊維質の多い野菜など添え個別に対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔内のトラブルが無いよう毎食後その方に合わせた口腔ケアを行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンを把握し、トイレの声がけをしたり、車椅子の方には介助を行う等をして、出来る限りトイレでの排泄を行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘気味の方には、水分や繊維質の物など多く摂って頂いたり、適度な運動を行う等して予防に努めています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	気持ち良く入浴をして頂ける様、タイミング等ご本人の希望を優先しています。また体調にも気を配り足浴や清拭も行っています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その方の習慣に応じ、夜間に影響しない程度に日中休憩をして頂いたり、体調や状況に応じて個々の対応を行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員が薬の効果や副作用をしっかりと理解し、薬の変更があった場合でも情報を共有し、安全に服薬して頂ける様努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方の生活歴や趣味などを把握し、役割を持って頂いたり、力を発揮出来る様支援をしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望があれば、買い物や友人の所など外出が出来る様支援をしています。		



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の希望があった場合、ご家族と相談し、少額のお金を所持して頂いたり、必要があれば買い物等同行しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に応じご家族に連絡したり、手紙のやり取りができるように支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	安心で心地よく生活が送れるよう、毎日チェックや整理を行っています。廊下やフロア等季節を感じて頂けるような飾りつけを一緒に行っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ストレスを感じないように、その方に合った居場所・空間が出来るよう工夫しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	可能な限り、ご本人の使い慣れた物を置いて頂き、心地よく過ごせるよう配慮しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	車椅子の方にも安全な生活を過ごせるよう工夫したり、視力の低下した方にも動線を考えた配慮を行い、安心・安全に生活して頂けるような環境作りをしています。		